

利 用 者 の た め に

1 調査の概要

(1) 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査の期日

平成14年5月1日

(3) 調査の対象

公立・私立の小学校，中学校，高等学校，盲学校，ろう学校，養護学校，幼稚園，専修学校，各種学校，市町村教育委員会及び学校組合教育委員会（注：国立の学校及び幼稚園は，文部科学省の直接調査となっている。）

(4) 調査票の種類と主な調査事項

- | | |
|---------------|---|
| ア 学校調査 | 学校数，学級数，園児・児童・生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業生数等。 |
| イ 学校通信教育調査 | 学校数，生徒数，入学者数，卒業生数，教員数及び職員数等。 |
| ウ 卒業後の状況調査 | 中学校，高等学校全日制・定時制課程，盲学校・ろう学校・養護学校については平成14年3月卒業生（年度途中（平成13年4月1日～平成14年3月31日）に卒業を認められた者も含む。）の5月1日現在の進路状況。高等学校通信制課程については，平成13年度間卒業生の5月1日現在の進路状況。（高等学校通信制についてのこの調査事項は，昭和61年度に新設された。）
なお，この調査における中学校又は高等学校卒業生の高等学校又は大学等への「入学志願者数」には，高等学校の通信制課程，大学及び短期大学の通信教育部並びに放送大学への入学志願者は含まれていないので，利用に当たっては注意が必要である。 |
| エ 不就学学齢児童生徒調査 | 就学免除者数，就学猶予者数，1年以上居所不明者数及び学齢児童生徒死亡者数等。 |
| オ 学校施設調査 | 土地又は建物の用途別及び構造別等の面積並びに増減の状況。 |

2 報告書の内容及び資料

- (1) この報告書には，「学校調査」，「学校通信教育調査」，「卒業後の状況調査」，「不就学学齢児童生徒調査」及び「学校施設調査」の結果の一部を収録している。
- (2) この報告書の数値は，県集計表，国立学校の資料及び文部科学省「学校基本調査報告書」による。
- (3) 本年度の数値は，県で集計した結果であり，文部科学省刊行の平成14年度「学校基本調査報告書」の数値を確定数とする。

3 用語の説明等

(1) この調査における用語の説明は、次に掲げるほか、必要に応じてそれぞれの表に脚注として掲げた。

- | | |
|-----------------------|--|
| ア 「75条の学級」 | 学校教育法第75条第1項に該当する者（知的障害者，肢体不自由者，身体虚弱者，弱視者，難聴者，その他心身に故障のある者）で編制する学級をいう。 |
| イ 「長期欠席者」 | 平成13年4月1日から平成14年3月31日までの1年間に連続又は断続して，30日以上欠席した児童生徒をいう。
ただし，平成13年4月1日現在で15歳以上の者については，1年間にわたり居所が不明又は全く出席しなかった場合は除く。 |
| ウ 「帰国児童・生徒」 | 海外勤務者等の児童・生徒で1年以上海外に在留し，平成13年4月1日から平成14年3月31日までの間に帰国した児童生徒をいう。 |
| エ 「外国人」 | 日本の国籍を持たない者をいう。日本と外国の両方の国籍を有する者は日本人とする。 |
| オ 「教員数(本務者)，職員数(本務者)」 | 本務・兼務の区別は原則として辞令面による。本務者には，休職者及び育児休業者，産休代替者，育児休業代替者を含める。 |
| カ 「負担法による者(公立のみ)」 | 小・中学校においては，公立学校の職員で，市町村立学校職員給与負担法による者をいう。盲学校・ろう学校・養護学校においては，都道府県費負担に係る都道府県立学校の職員及び市町村立学校職員給与負担法による職員をいう。 |
| キ 「市町村費支弁の教員」 | 市町村立学校で，市町村が任命して給与を負担している者をいう。 |
| ク 「指導主事」 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第19条第4項後段の規定により，指導主事に充てられた者をいう。 |
| ケ 「教育委員会事務局等勤務者・その他」 | 学校に籍はあるが，教育委員会事務局・教育研究所・公民館・図書館・理科センター等に専ら勤務する者，国立大学附属学校へ派遣されている者をいう。 |
| コ 「留学生・海外日本人学校派遣者」 | 「留学生」とは国内又は外国の大学・教育研修所へ研修のため6カ月以上継続して派遣されている者をいい，「海外日本人学校派遣者」とは長期研修出張の扱いで文部科学省の委嘱により，在外の日本人学校又は補習授業校に派遣されている者をいう。 |
| サ 「併置校」 | 高等学校において，「全日制」，「定時制」，「通信制」のうちいずれか2課程以上を設置している学校をいう。 |
| シ 「高等学校等進学者」 | 高等学校の本科(全日制，定時制及び通信制)及び別科，高等専門学校，盲学校・ろう学校・養護学校高等部の本科及び別科に進学した者をいう。 |
| ス 「大学等進学者」 | 大学(学部)，短期大学(本科)，大学・短期大学の通信教育部及び放送大学，大学・短期大学(別科)，高等学校(専攻科)及び盲学校・ろう学校・養護学校高等部(専攻科)に進学した者をいう。 |
| セ 「専修学校等入学者」 | 専修学校，各種学校(予備校等)又は公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。ただし，進学しながら専修学校等に通学している者は「進学者」としている。 |
| ソ 「就職者」 | 給料，賃金，利潤，報酬その他経常的収入を得る仕事に就いた者をいう。
(自家自営業に就いた者は含めるが，家事手伝いや臨時的な仕事に就いた者は含めない。)就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者は，それぞれ，「進学者」，「専修学校等入学者」に含めるが，就職率の算出及び就職先の産業別，職業別等の場合には，就職者にも含める。 |

タ 「進学率」 卒業生総数のうち進学者（就職しながら進学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{進学率} = \frac{\text{進学者（就職進学者を含む。）}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

チ 「入学率」 入学志願者のうち進学者の割合で、次の式により算出する。

$$\text{入学率} = \frac{\text{進学者}}{\text{入学志願者}} \times 100$$

ツ 「専修学校等入学率」 卒業生総数のうち専修学校等入学者（就職しながら専修学校等に入学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{専修学校等入学率} = \frac{\text{専修学校等入学者（就職専修学校等入学者を含む。）}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

テ 「就職率」 卒業生総数のうち就職者（就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者を含む。）の割合で、次の式により算出する。

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者} + \text{Aのうち就職者} + \text{Bのうち就職者}}{\text{卒業生総数}} \times 100$$

A = 進学者 B = 専修学校等入学者

ト 「就園率」 本年度小学校第1学年児童数に対する本年3月幼稚園修了者数の割合で、次の式により算出する。

$$\text{就園率} = \frac{\text{幼稚園修了者数（幼稚園調査）}}{\text{小学校1年生の児童総数（小学校調査）}} \times 100$$

ナ 「専修学校」 学校教育法第1条の学校以外で、職業や实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う教育施設（学校教育法第82条の2）をいう。修業年限は1年以上で、常時40人以上を対象として年間800時間以上の授業を行うものとされているほか、教員資格、教員数、校舎面積などについて専修学校設置基準（昭和51年文部省令第2号）を満たし、認可を受けたものをいう。

ニ 「各種学校」 学校教育法第1条の学校及び専修学校以外の学校教育に類する教育を行う教育施設（学校教育法第83条）で、年間授業時数、教員数、校舎面積などについて各種学校規程（昭和31年文部省令）の基準を満たし、認可を受けたものをいう。

(2) 統計表中の記号は次のとおりである。

「 」	該当数値のないもの。
「 ... 」	数値不詳のもの。
「 0.0 」	数値が単位未満のもの。
「 」	負数又は減少を示す。

(3) この報告書についての問い合わせ先

広島県地域振興部管理総室生活統計室 消費経済・教育統計グループ
〒730-8511 広島市中区基町 10-52 電話 (082) 513-2534 (ダイヤル)
FAX (082) 211-3575

また、この内容については次のインターネットでも情報提供していますので、御利用ください。
広島県統計ホームページ「広島の統計」 アドレス番号 <http://db1.pref.hiroshima.jp/toukei/>

結果の概要

概況

平成14年5月1日現在で実施した学校基本調査（大学，短期大学，高等専門学校を除く。）の結果の概要は次のとおりである。

1 小学校 児童数は過去最低，第二次ピーク時（昭和57年度）の58.8%

（1） 児童数は167,861人，前年度より1.1%（1,871人）減少した。昭和58年度以降連続して減少し過去最低となった。

（2） 不登校児童数は801人，前年度間より0.5%（4人）増加した。

2 中学校 生徒数は過去最低，第二次ピーク時（昭和62年度）の61.2%

（1） 生徒数は88,907人，前年度より3.4%（3,113人）減少した。昭和63年度以降連続して減少し過去最低となった。

（2） 高等学校等への進学率は97.1%，前年度より0.2ポイント低下した。

（3） 就職率は0.7%，4年度連続同率。

（4） 不登校生徒数は2,988人，前年度間より2.9%（83人）増加した。

3 高等学校 生徒数は第二次ピーク時（平成2年度）の68.1%

進学率は5年連続して5割を超える

（1） 生徒数は95,066人，前年度より2.8%（2,747人）減少した。平成3年度以降連続して減少している。

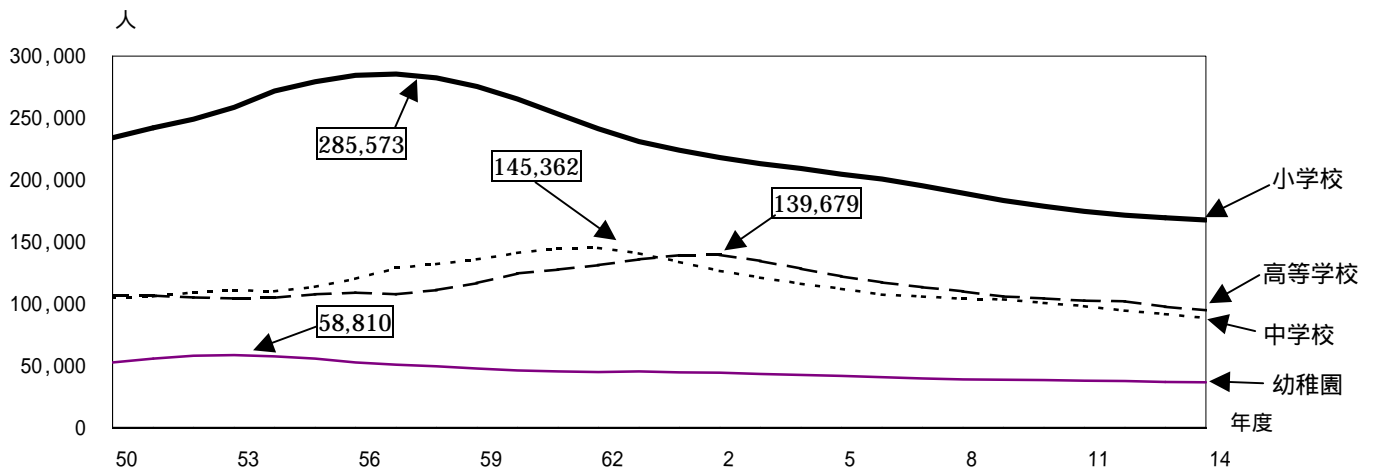
（2） 大学等への進学率は51.8%，前年度より0.4ポイント低下した。

（3） 就職率は13.0%，前年度より0.5ポイント低下した。昭和57年度以降連続して低下し過去最低となった。

4 盲学校・ろう学校・養護学校，幼稚園，専修学校，各種学校

- (1) 盲学校の在学者数は 63 人，前年度より 3.1% (2 人) 減少した。
- (2) ろう学校の在学者数は 87 人，前年度より 7.4% (6 人) 増加した。
- (3) 養護学校の在学者数は 1,169 人，前年度より 4.7% (52 人) 増加した。
- (4) 幼稚園の園児数は 36,971 人，前年度より 0.6% (232 人) 減少した。平成元年度以降連続して減少している。
- (5) 専修学校の生徒数は 15,766 人，前年度より 4.2% (695 人) 減少した。
- (6) 各種学校の生徒数は 3,508 人，前年度より 4.7% (173 人) 減少した。

図 1 児童・生徒・園児数の推移 (昭和 5 0 年度 ~)



学 校 調 査

1 小 学 校

(1) 学 校 数

ア 学校数は647校(本校640校,分校7校)である。(表1)

イ 設置者別では,国立3校,公立638校(うち休校中は本校19校,分校3校),私立6校(うち休校中は1校)である。(表1)

ウ ヘキ地等指定(公立のみ)の学校数は100校(うち分校は4校)が指定されている。
(表1)

エ 75条の学級のある学校数は338校(52.2%)である。(表1)

表1 学校数・学級数 小学校

(単位:校,学級)

年 次	学 校 数			へき地等指定 のある学校 (公立のみ)	75条学級 のある 学 校	学 級 数			
	総 数	本 校	分 校			総 数	単 式	複 式	75条
昭和 40年度	709	656	53	90	156	6,629	6,128	331	170
50	657	635	22	132	248	7,516	6,825	347	344
60	693	679	14	120	284	8,268	7,539	353	376
平成 5	681	672	9	138	243	7,413	6,735	338	340
6	680	672	8	135	252	7,277	6,570	350	357
7	675	667	8	131	243	7,182	6,517	311	354
8	671	663	8	129	260	7,039	6,349	317	373
9	667	659	8	124	267	6,921	6,223	308	390
10	665	658	7	122	278	6,808	6,091	310	407
11	663	656	7	122	282	6,698	5,951	322	425
12	659	652	7	119	289	6,616	5,860	318	438
13	658	651	7	111	311	6,639	5,871	306	462
14	647	640	7	100	338	6,638	5,857	285	496
国 立	3	3	-	-	1	42	36	3	3
公 立	638	631	7	100	337	6,554	5,782	279	493
私 立	6	6	-	-	-	42	39	3	-

オ 児童数別学校数では,児童数1~99人の学校が229校(35.4%)と最も多く,児童数1,000人を超える学校は5校で,前年度より2校増加した。

1校当たりの児童数は269人で,最も多いのは広島市の485人である。(表2,3)

表2 児童数別学校数 小学校

(単位:校,人)

年次	学校 総数	0人	1~ 99人	100~ 299人	300~ 499人	500~ 999人	1,000~ 1,499人	1,500人 以上	1校当たり 児童数
昭和40年度	709	1	194	285	106	83	30	10	306
50	654	9	221	181	67	111	58	10	361
60	693	8	202	167	90	169	54	3	387
平成5	681	14	232	161	105	157	12	-	307
6	680	14	227	169	109	153	8	-	301
7	675	15	233	162	115	142	8	-	296
8	671	14	233	162	118	137	7	-	288
9	667	15	233	165	119	128	7	-	282
10	665	17	237	159	120	125	7	-	276
11	663	19	238	160	115	126	5	-	271
12	659	19	238	155	125	118	4	-	268
13	658	23	239	152	126	115	3	-	267
14	647	23	229	155	117	118	5	-	269

注) 1 0人とは休校中の学校である。

2 1校当たり児童数の算出式は次のとおりである。

1校当たり児童数 = 児童総数 / (学校総数 - 休校中の学校数)

表3 1校当たり児童数 小学校

(単位:人)

市郡	1校当たり 児童数	市郡	1校当たり 児童数	市郡	1校当たり 児童数	市郡	1校当たり 児童数
総数	269	福山市	362	安芸郡	226	沼隈郡	138
		府中市	189	佐伯郡	178	深安郡	331
広島市	485	三次市	152	山県郡	56	芦品郡	312
呉市	304	庄原市	73	高田郡	106	神石郡	60
竹原市	144	大竹市	223	賀茂郡	164	甲奴郡	94
三原市	234	東広島市	390	豊田郡	150	双三郡	77
尾道市	265	廿日市市	455	御調郡	115	比婆郡	42
因島市	180			世羅郡	83		

注) 市郡別の休校数(広島市1,呉市2,福山市1,三次市2,山県郡5,豊田郡2,神石郡4,比婆郡6)は母数より除く。

(2) 学級数

ア 学級数は6,638学級で、前年度より1学級(0.0%)減少した。

学級種別では、単式学級5,857学級(0.2%減)、複式学級285学級(6.9%減)、75条の学級496学級(7.4%増)である。(表1)

イ 収容人員別学級数では、児童数31~35人の学級が1,862学級(28.1%)と最も多く、児童数36人以上の学級は967学級で、前年度より121学級(11.1%)減少した。

(表4)

表4 収容人員別学級数 小学校

(単位：学級，%)

年次	学級 総数	1~ 20人	21~ 25人	26~ 30人	31~ 35人	36~ 40人	41~ 45人	46人 以上
昭和40年度	6,629	1,094	572	805	857	1,312	1,527	452
50	7,516	1,548	490	544	1,109	2,140	1,683	2
60	8,268	1,401	470	574	1,326	2,638	1,856	3
平成5	7,413	1,580	598	1,202	2,421	1,602	10	-
6	7,277	1,585	566	1,171	2,300	1,645	10	-
7	7,182	1,636	573	1,195	2,218	1,551	9	-
8	7,039	1,652	603	1,224	2,051	1,505	4	-
9	6,921	1,672	611	1,316	1,909	1,404	9	-
10	6,808	1,697	611	1,263	1,873	1,355	9	-
11	6,698	1,685	634	1,257	1,822	1,293	7	-
12	6,616	1,718	599	1,165	1,875	1,253	6	-
13	6,639	1,748	599	1,375	1,829	1,080	8	-
14	6,638	1,761	603	1,445	1,862	959	8	-
国立	42	6	-	-	-	36	-	-
公立	6,554	1,750	601	1,437	1,856	906	4	-
私立	42	5	2	8	6	17	4	-
(構成比)								
昭和40年度	100.0	16.5	8.6	12.1	12.9	19.8	23.0	7.0
50	100.0	20.6	6.5	7.2	14.8	28.5	22.4	0.0
60	100.0	16.9	5.7	6.9	16.0	31.9	22.4	0.0
平成5	100.0	21.3	8.1	16.2	32.7	21.6	0.1	-
6	100.0	21.8	7.8	16.1	31.6	22.6	0.1	-
7	100.0	22.8	8.0	16.6	30.9	21.6	0.1	-
8	100.0	23.5	8.6	17.4	29.1	21.4	0.1	-
9	100.0	24.2	8.8	19.0	27.6	20.3	0.1	-
10	100.0	24.9	9.0	18.6	27.5	19.9	0.1	-
11	100.0	26.0	9.1	17.6	28.3	18.9	0.1	-
12	100.0	26.3	9.0	20.7	27.5	16.3	0.1	-
13	100.0	26.3	9.0	20.7	27.5	16.3	0.1	-
14	100.0	26.5	9.1	21.8	28.1	14.4	0.1	-

注) 昭和40年度には国立は含まれていない。

(3) 児童数

ア 児童数は167,861人で、前年度より1,871人(1.1%)減少し、昭和58年度以降連続して減少している。(表5)

イ 5年前(平成9年度)と比較すると、県全体では8.6%減少している。

市郡別で増加しているのは東広島市(0.9%増)のみで、他の市郡は減少している。

減少の割合が特に大きいのは甲奴郡(25.6%減)、比婆郡(24.1%減)、因島市(22.3%減)等である。(表6)

ウ 学年別では、1学年27,473人、2学年28,412人、3学年27,785人、4学年27,845人、5学年28,176人、6学年28,170人である。(統計表4)

エ 男女別では、男子が85,941人、女子が81,920人で男子が女子を4,021人上回っている。(表5)

オ 帰国児童数(平成13年度間)は64人、外国人児童数は797人である。(表5)

カ 長期欠席者数(平成13年度間)は1,729人で、前年度間より137人(8.6%)増加した。(表5)

理由別では、病気750人(43.4%)、経済的理由9人(0.5%)、不登校801人(46.3%)、その他169人(9.8%)である。(表7)

不登校児童数の全児童数に占める割合は0.47%(全国0.36%)で、前年度間より0.01ポイント上昇した。(表8)

表5 児童数 小学校

(単位：人)

年次	総数	性別		学級種類別			長期欠席者数 30日以上	帰国 児童数	外国人 児童数
		男	女	単式	複式	75条			
昭和40年度	216,343	110,728	105,615	208,242	5,206	1,398			1,586
50	234,239	120,094	114,145	228,763	3,583	1,893			1,050
60	265,418	135,809	129,609	260,154	3,538	1,726		61	1,263
平成5	204,825	105,192	99,633	200,500	3,181	1,144	1,320	114	1,190
6	200,785	103,047	97,738	196,305	3,340	1,140	1,262	118	1,308
7	195,456	100,285	95,171	191,583	2,782	1,091	1,461	125	1,165
8	189,478	97,305	92,173	185,535	2,870	1,073	1,468	107	1,092
9	183,674	94,079	89,595	179,788	2,762	1,124	1,671	108	1,030
10	178,865	91,680	87,185	175,047	2,713	1,105	1,823	130	1,067
11	174,660	89,579	85,081	170,680	2,853	1,127	1,614	140	984
12	171,761	88,078	83,683	167,802	2,789	1,170	1,704	121	894
13	169,732	87,177	82,555	165,782	2,693	1,257	1,592	92	846
14	167,861	85,941	81,920	164,136	2,408	1,317	1,729	64	797
国立	1,467	740	727	1,407	45	15	1	-	6
公立	165,067	84,643	80,424	161,417	2,348	1,302	1,728	62	790
私立	1,327	558	769	1,312	15	-	-	2	1

注) 1 昭和40年度の学級種類別児童数には国立は含まれていない。

2 長期欠席者数は前年度間に30日以上欠席した児童の数である。

なお、平成2年度間以前の30日以上の欠席者数については調査していない。

表6 児童数の増減率 小学校

(単位：%)

市 郡	増 減 率 (対9年度)	市 郡	増 減 率 (対9年度)	市 郡	増 減 率 (対9年度)	市 郡	増 減 率 (対9年度)
総 数	8.6	福 山 市	8.5	安 芸 郡	9.5	沼 隈 郡	17.9
		府 中 市	12.4	佐 伯 郡	16.1	深 安 郡	6.6
広 島 市	5.8	三 次 市	12.8	山 県 郡	14.9	芦 品 郡	10.5
呉 市	4.1	庄 原 市	21.4	高 田 郡	13.8	神 石 郡	22.1
竹 原 市	11.6	大 竹 市	11.5	賀 茂 郡	12.8	甲 奴 郡	25.6
三 原 市	12.8	東 広 島 市	0.9	豊 田 郡	19.5	双 三 郡	12.6
尾 道 市	7.4	廿 日 市 市	13.9	御 調 郡	18.6	比 婆 郡	24.1
因 島 市	22.3			世 羅 郡	19.2		

表7 理由別長期欠席者数 小学校

(単位：人，%)

年 度 間	総 数	病 気 (構成比)	経 済 的 理 由 (構成比)	不 登 校 (構成比)	そ の 他 (構成比)
平成 9	1,823	906 (49.7)	- -	576 (31.6)	341 (18.7)
10	1,614	645 (40.0)	1 (0.1)	793 (49.1)	175 (10.8)
11	1,704	711 (41.7)	3 (0.2)	838 (49.2)	152 (8.9)
12	1,592	671 (42.1)	3 (0.2)	797 (50.1)	121 (7.6)
13	1,729	750 (43.4)	9 (0.5)	801 (46.3)	169 (9.8)

表8 不登校児童数の全児童数に占める割合

(単位：%)

年 度 間	広 島 県	全 国
平成 9	0.31	0.26
10	0.44	0.34
11	0.48	0.35
12	0.46	0.36
13	0.47	0.36

注) 不登校児童数の全児童数に占める割合
= 不登校児童数 / 当該年度の5月1日現在児童数 × 100

(4) 教員数

ア 教員数(本務者)は9,951人で、前年度より56人(0.6%)減少した。(表9)

イ 女子教員の占める割合は67.3%(全国62.6%)で、前年度と同率である。(表9)

ウ 本務教員1人当たりの児童数は16.9人(全国17.6人)で、前年度より0.1人減少した。(表9)

表9 教員数(本務者) 小学校

(単位:人,%)

年次	総数	男	女	女子教員の割合 ()は全国	教員1人当たりの児童数 ()は全国
昭和40年度	8,265	4,278	3,987	48.2(48.4)	26.2(28.3)
50	9,872	4,127	5,745	58.2(54.8)	23.7(25.0)
60	11,541	4,346	7,195	62.3(56.0)	23.0(24.1)
平成5	10,977	3,702	7,275	66.3(60.4)	18.7(20.0)
6	10,833	3,603	7,230	66.7(60.8)	18.5(19.7)
7	10,692	3,520	7,172	67.1(61.2)	18.3(19.4)
8	10,548	3,450	7,098	67.3(61.6)	18.0(19.0)
9	10,506	3,407	7,099	67.6(62.0)	17.5(18.7)
10	10,322	3,357	6,965	67.5(62.2)	17.3(18.4)
11	10,201	3,320	6,881	67.5(62.3)	17.1(18.2)
12	10,104	3,300	6,804	67.3(62.3)	17.0(18.1)
13	10,007	3,270	6,737	67.3(62.5)	17.0(17.9)
14	9,951	3,256	6,695	67.3(62.6)	16.9(17.6)
国立	66	44	22	33.3(26.4)	22.2(26.6)
公立	9,828	3,183	6,645	67.6(62.9)	16.8(17.6)
私立	57	29	28	49.1(49.2)	23.3(20.6)

2 中 学 校

(1) 学 校 数

ア 学校数は285校(すべて本校)である。(表10)

イ 設置者別では、国立4校、公立254校(うち休校中2校)、私立27校(うち休校中5校)である。(表10)

ウ ヘキ地指定の学校数(公立のみ)は25校が指定されている。(表10)

エ 75条の学級のある学校数は157校(55.1%)である。(表10)

オ 生徒数別学校数では、生徒数100~299人の学校が87校(30.5%)と最も多く、生徒数1,000人を超える学校は1校のみである。(表11)

表10 学校数・学級数 中学校

(単位:校,学級)

年 次	学 校 数			へき地等指定 のある学校 (公立のみ)	75条学級 の 有 る 学 校	学 級 数			
	総 数	本 校	分 校			総 数	単 式	複 式	75条
昭和 40年度	294	276	18	23	112	3,319	3,177	12	130
50	248	247	1	24	160	2,917	2,704	-	213
60	268	268	-	19	167	3,713	3,499	2	212
平成 5	280	280	-	28	147	3,362	3,159	3	200
6	281	281	-	28	146	3,247	3,042	2	203
7	282	282	-	28	141	3,202	3,003	-	199
8	282	282	-	27	143	3,166	2,963	1	202
9	284	284	-	27	142	3,169	2,962	-	207
10	284	284	-	27	140	3,116	2,906	-	210
11	285	285	-	27	138	3,046	2,830	-	216
12	284	284	-	25	140	2,964	2,748	-	216
13	285	285	-	25	140	2,899	2,682	-	217
14	285	285	-	25	157	2,855	2,606	-	249
国 立	4	4	-	-	1	33	30	-	3
公 立	254	254	-	25	156	2,602	2,356	-	246
私 立	27	27	-	-	-	220	220	-	-

注) 昭和40年度の75条の学級のある学校には国立は含まれていない。

表11 生徒数別学校数 中学校

(単位:校,人)

年 次	学 校 総 数	1 校 当 たり 生 徒 数							
		0 人	1~ 99人	100~ 299人	300~ 499人	500~ 999人	1,000~ 1,499人	1,500人 以 上	1 校 当 たり 生 徒 数
昭和 40年度	294	7	24	101	68	69	18	7	448
50	248	9	30	74	53	58	17	5	441
60	268	6	31	65	40	83	42	1	539
平成 5	280	5	39	77	56	99	4	-	409
6	281	5	44	73	66	92	1	-	390
7	282	5	40	72	75	90	-	-	383
8	282	5	40	76	75	86	-	-	384
9	284	6	40	79	73	84	2	-	373
10	284	7	42	81	73	80	1	-	365
11	285	7	47	82	71	77	1	-	354
12	284	7	46	88	69	73	1	-	343
13	285	7	51	85	74	67	1	-	331
14	285	7	52	87	74	64	1	-	320

注) 1 0人とは休校中の学校である。

2 1校当たり生徒数の算出式は次のとおりである。

1校当たり生徒数 = 生徒総数 / (学校総数 - 休校中の学校数)

(2) 学級数

ア 学級数は2,855学級で、前年度より44学級(1.5%)減少した。

学級種類別では、単式学級2,606学級(2.8%減)、75条の学級249学級(14.7%増)である。(表10)

イ 収容人員別学級数では、生徒数36~40人の学級が1,132学級(39.6%)と最も多く、生徒数41人以上の学級は108学級で、前年度と同数である。(表12)

表12 収容人員別学級数 中学校

(単位：学級，%)

年次	学級総数	1~20人	21~25人	26~30人	31~35人	36~40人	41~45人	46人以上
昭和40年度	3,319	176	50	133	283	625	1,364	688
50	2,917	253	96	112	370	799	1,207	80
60	3,713	254	75	120	179	976	2,020	89
平成5	3,362	264	109	219	842	1,799	67	62
6	3,247	271	115	222	911	1,598	63	67
7	3,202	265	120	230	851	1,605	75	56
8	3,166	276	139	210	807	1,616	69	49
9	3,169	284	134	214	908	1,513	68	48
10	3,116	295	135	225	954	1,397	59	51
11	3,046	312	113	186	973	1,346	65	51
12	2,964	317	121	209	959	1,248	63	47
13	2,899	319	129	212	953	1,178	62	46
14	2,855	362	145	198	910	1,132	62	46
国立	33	3	-	-	-	24	6	-
公立	2,602	354	128	181	877	1,062	-	-
私立	220	5	17	17	33	46	56	46
(構成比)								
昭和40年度	100.0	5.3	1.5	4.0	8.5	18.8	41.1	20.7
50	100.0	8.7	3.3	3.8	12.7	27.4	41.4	2.7
60	100.0	6.8	2.0	3.2	4.8	26.3	54.4	2.4
平成5	100.0	7.9	3.2	6.5	25.1	53.5	2.0	1.8
6	100.0	8.3	3.5	6.8	28.1	49.2	2.0	2.1
7	100.0	8.3	3.7	7.2	26.6	50.1	2.3	1.7
8	100.0	8.7	4.4	6.6	25.5	51.0	2.2	1.5
9	100.0	9.0	4.2	6.8	28.7	47.7	2.1	1.5
10	100.0	9.5	4.3	7.2	30.6	44.8	1.9	1.6
11	100.0	10.7	4.1	7.1	32.4	42.1	2.1	1.6
12	100.0	11.0	4.4	7.3	32.9	40.6	2.1	1.6
13	100.0	11.0	4.4	7.3	32.9	40.6	2.1	1.6
14	100.0	12.7	5.1	6.9	31.9	39.6	2.2	1.6

(3) 生徒数

ア 生徒数は 88,907 人で、前年度より 3,113 人(3.4%)減少し、昭和 63 年度以降連続して減少している。(表 13)

イ 5 年前(平成 9 年度)と比較すると 14.3%減少している。

市郡別では、全ての市郡で減少している。

減少の割合が特に大きいのは因島市(34.1%減)、比婆郡(29.4%減)、沼隈郡(28.9%減)等である。(表 14)

ウ 学年別では、1 学年 28,709 人、2 学年 29,955 人、3 学年 30,243 人である。

(統計表 15)

エ 男女別では、男子 45,477 人、女子 43,430 人で、男子が女子を 2,047 人上回っている。

(表 13)

オ 帰国生徒数(平成 13 年度間)は 44 人、外国人生徒数は 552 人である。(表 13)

カ 長期欠席者数(平成 13 年度間)は 3,423 人で、前年度より 1 人(0.0%)増加した。

(表 13)

理由別では、病気 243 人(7.1%)、経済的理由 8 人(0.2%)、不登校 2,988 人(87.3%)、その他が 184 人(5.4%)である。(表 15)

不登校生徒数の全生徒数に占める割合は 3.25%(全国 2.81%)で、前年度間より 0.19 ポイント上昇した。(表 16)

表 13 生徒数 中学校

(単位：人)

年次	総数	性別		学級種類別			長期欠席者数 30 日以上	帰国生徒数	外国人生徒数
		男	女	単式	複式	75条			
昭和 40 年度	131,829	67,593	64,236	129,175	160	1,138			967
50	105,294	53,549	51,745	104,072	-	1,222			459
60	141,266	71,923	69,343	140,227	14	1,025		28	757
平成 5	112,347	57,513	54,834	111,728	20	599	1,988	59	645
6	107,584	55,126	52,458	107,012	15	557	2,065	44	602
7	106,067	54,485	51,582	105,526	-	541	2,206	40	599
8	104,264	53,368	50,896	103,707	8	549	2,292	36	625
9	103,726	53,035	50,691	103,156	-	570	2,594	53	672
10	101,072	51,738	49,334	100,495	-	577	3,029	36	698
11	98,472	50,567	47,905	97,891	-	581	3,107	37	666
12	94,874	48,678	46,196	94,325	-	549	3,451	41	619
13	92,020	47,086	44,934	91,461	-	559	3,422	44	617
14	88,907	45,477	43,430	88,330	-	577	3,423	44	552
国立	1,225	614	611	1,201	-	24	8	-	4
公立	79,300	40,904	38,396	78,747	-	553	3,338	40	533
私立	8,382	3,959	4,423	8,382	-	-	77	4	15

注) 1 昭和 40 年度の学級種類別生徒数には国立は含まれていない。

2 長期欠席者数は前年度間に 30 日以上欠席した生徒の数である。

なお、平成 2 年度間以前の 30 日以上の欠席者数については調査していない。

表14 生徒数の増減率 中学校

(単位：%)

市 郡	増 減 率 (対9年度)	市 郡	増 減 率 (対9年度)	市 郡	増 減 率 (対9年度)	市 郡	増 減 率 (対9年度)
総 数	14.3	福山市	14.6	安芸郡	18.8	沼隈郡	28.9
		府中市	22.4	佐伯郡	23.3	深安郡	21.5
広島市	12.6	三次市	5.4	山県郡	8.7	芦品郡	16.8
呉市	13.5	庄原市	14.6	高田郡	17.5	神石郡	16.1
竹原市	17.0	大竹市	13.9	賀茂郡	11.4	甲奴郡	12.5
三原市	14.3	東広島市	0.3	豊田郡	20.2	双三郡	20.3
尾道市	15.3	廿日市市	14.8	御調郡	16.1	比婆郡	29.4
因島市	34.1			世羅郡	15.4		

表15 理由別長期欠席者数 中学校

(単位：人，%)

年度間	総 数	病 気 (構成比)	経済的理由 (構成比)	不 登 校 (構成比)	そ の 他 (構成比)
平成 9	3,029	418 (13.8)	13 (0.4)	1,785 (58.9)	813 (26.8)
10	3,107	268 (8.6)	14 (0.5)	2,417 (77.8)	408 (13.1)
11	3,451	324 (9.4)	4 (0.1)	2,879 (83.4)	244 (7.1)
12	3,422	346 (10.1)	10 (0.3)	2,905 (84.9)	161 (4.7)
13	3,423	243 (7.1)	8 (0.2)	2,988 (87.3)	184 (5.4)

表16 不登校生徒数の全生徒数に占める割合

(単位：%)

年度間	広島県	全 国
平成 9	1.72	1.89
10	2.39	2.32
11	2.92	2.45
12	3.06	2.63
13	3.25	2.81

注) 不登校生徒数の全生徒数に占める割合
 = 不登校生徒数 / 当該年度の5月1日現在生徒数 × 100

(4) 教員数

ア 教員数(本務者)は5,902人で、前年度より95人(1.6%)減少した。(表17)

イ 女子教員の占める割合は41.1%(全国40.7%)で、前年度より0.2ポイント低下した。
(表17)

ウ 本務教員1人当たりの生徒数は15.1人(全国15.2人)で、前年度より0.2人減少した。(表17)

表17 教員数(本務者) 中学校

(単位:人,%)

年次	総数	男	女	女子教員の割合 ()は全国	教員1人当たりの生徒数 ()は全国
昭和40年度	5,457	4,026	1,431	26.2(25.3)	24.2(25.1)
50	5,246	3,691	1,555	29.6(29.4)	20.1(20.3)
60	6,763	4,387	2,376	35.1(33.9)	20.9(21.0)
平成5	6,603	3,956	2,647	40.1(38.4)	17.0(17.4)
6	6,457	3,855	2,602	40.3(38.8)	16.7(17.1)
7	6,374	3,800	2,574	40.4(39.2)	16.6(16.9)
8	6,372	3,792	2,580	40.5(39.8)	16.4(16.7)
9	6,425	3,784	2,641	41.1(40.2)	16.1(16.6)
10	6,308	3,709	2,599	41.2(40.5)	16.0(16.4)
11	6,253	3,676	2,577	41.2(40.6)	15.7(16.2)
12	6,113	3,588	2,525	41.3(40.5)	15.5(15.9)
13	5,997	3,521	2,476	41.3(40.6)	15.3(15.6)
14	5,902	3,474	2,428	41.1(40.7)	15.1(15.2)
国立	53	41	12	22.6(24.4)	23.1(20.4)
公立	5,401	3,144	2,257	41.8(41.1)	14.7(15.0)
私立	448	289	159	35.5(35.6)	18.7(18.7)

3 高等学校

A 全日制

(1) 学校数

ア 学校数は136校(本校132校,分校4校)である。(表18)

イ 設置者別では,国立2校,公立99校,私立35校である。(表18)

表18 全日制の学校数・生徒数・教員数・職員数

高等学校

(単位:校,人)

年次	学校数			生徒数			教員数(本務者)		
	総数	本校	分校	総数	男	女	総数	男	女
昭和40年度	124	101	23	128,661	64,893	63,768	4,957	4,087	870
50	133	114	19	99,969	50,346	49,623	5,232	4,372	860
60	140	134	6	117,265	58,914	58,351	6,331	5,145	1,186
平成5	140	136	4	114,372	57,226	57,146	6,831	5,258	1,546
6	139	135	4	109,767	54,971	54,796	6,834	5,244	1,590
7	139	135	4	106,008	53,134	52,874	6,785	5,131	1,654
8	139	135	4	102,694	51,661	51,033	6,692	5,030	1,662
9	139	135	4	98,627	49,538	49,089	6,574	4,892	1,682
10	137	133	4	97,114	48,843	48,271	6,548	4,809	1,739
11	136	132	4	94,913	47,543	47,370	6,496	4,738	1,758
12	136	132	4	93,553	46,890	46,663	6,461	4,699	1,762
13	136	132	4	90,191	45,312	44,879	6,325	4,565	1,760
14	136	132	4	87,246	43,986	43,260	6,135	4,393	1,742
国立	2	2	-	1,201	686	515	92	74	18
公立	99	95	4	59,491	29,084	30,407	4,572	3,178	1,394
私立	35	35	-	26,554	14,216	12,338	1,471	1,141	330

(2) 生徒数

ア 生徒数(専攻科を含む。)は87,246人(男子43,986人,女子43,260人)で,前年度より2,945人(3.3%)減少した。(表18)

イ 本科の学科別生徒数は,普通科が62,878人(72.1%),総合学科7,813人(9.0%),工業科6,735人(7.7%),商業科5,715人(6.6%),家庭科1,148人(1.3%)等である。

(表19)

ウ 専攻科の生徒数は75人である。(統計表24)

表19 全日制の学科別生徒数割合（本科） 高等学校

（単位：％，人）

年次	総数	普通	商業	工業	家庭	総合	その他
昭和 40年度	100.0	53.6	17.6	17.1	8.6	-	3.1
50	100.0	63.7	13.7	14.2	5.9	-	2.7
60	100.0	71.5	11.5	10.7	3.9	-	2.5
平成 5	100.0	74.4	10.0	10.0	2.6	-	3.0
6	100.0	74.6	9.8	9.8	2.5	-	3.3
7	100.0	74.3	7.6	10.3	3.7	0.2	4.2
8	100.0	75.3	8.9	9.1	2.6	0.6	4.0
9	100.0	75.6	8.2	8.8	2.6	1.4	4.9
10	100.0	74.6	7.4	8.2	2.2	4.2	3.4
11	100.0	72.9	6.9	8.0	1.7	7.0	3.4
12	100.0	71.8	6.6	7.8	1.4	9.1	3.3
13	100.0	71.7	6.5	7.8	1.3	9.3	3.4
14	100.0	72.1	6.6	7.7	1.3	9.0	3.3
生徒数	87,171	62,878	5,715	6,735	1,148	7,813	2,882

注) 総合学科は平成7年度に設置された。

(3) 教員数

ア 教員数（本務者）は6,135人で、前年度より190人（3.0%）減少した。（表18）

イ 女子教員の占める割合は28.4%で、前年度より0.6ポイント上昇した。（表18）

B 定 時 制

(1) 学 校 数

ア 学校数は 31 校 (本校 29 校 , 分校 2 校) である。(うち全日制との併置校 26 校 , 定時制のみ 5 校)(表 2 0 , 統計表 2 4)

イ 設置者別では , 公立 29 校 , 私立 2 校である。(表 2 0)

(2) 生 徒 数

ア 生徒数は 3,049 人 (男子 2,041 人 , 女子 1,008 人) で , 前年度より 23 人 (0.7%) 減少した。(表 2 0)

イ 学科別では , 普通科が 2,377 人 (78.0%) , 工業科 523 人 (17.2%) , 商業科 149 人 (4.9%) である。(統計表 2 6)

(3) 教 員 数

教員数 (本務者) は 377 人 (男子 273 人 , 女子 104 人) で , 前年度より 20 人 (5.0%) 減少した。(表 2 0)

表 2 0 定時制の学校数・生徒数・教員数・職員数 高等学校
(単位 : 校 , 人)

年 次	学 校 数			生 徒 数			教 員 数 (本 務 者)		
	総数	本校	分校	総 数	男	女	総数	男	女
昭和 40 年度	63	33	30	10,897	6,828	4,069	478	429	49
50	34	32	2	3,842	2,180	1,662	389	329	60
60	31	29	2	3,358	2,239	1,119	350	279	71
平成 5	31	29	2	3,669	2,640	1,029	402	305	97
6	31	29	2	3,571	2,571	1,000	399	305	94
7	31	29	2	3,162	2,233	929	396	306	90
8	31	29	2	2,991	2,091	900	398	303	95
9	31	29	2	2,882	2,015	867	403	302	101
10	31	29	2	2,969	2,040	929	406	304	102
11	31	29	2	3,176	2,216	960	406	301	105
12	31	29	2	3,308	2,278	1,030	405	296	109
13	31	29	2	3,072	2,075	997	397	287	110
14	31	29	2	3,049	2,041	1,008	377	273	104
国 立	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 立	29	27	2	3,049	2,041	1,008	377	273	104
私 立	2	2	-	-	-	-	-	-	-

C 通信制

(1) 学校数

ア 学校数は6校(本校5校,分校1校)である。(うち全日制との併置校1校)(表21)

イ 設置者別では,公立2校,私立4校である。(統計表24)

(2) 生徒数

ア 生徒数は4,771人(男子2,484人,女子2,287人)で,前年度より221人(4.9%)増加した。(図2,表21)

イ 学科別では,普通科が4,285人(89.8%)等である。(統計表26)

(3) 教員数

教員数は本務者86人,兼務者65人(校内28人,協力校等37人)である。(表21)

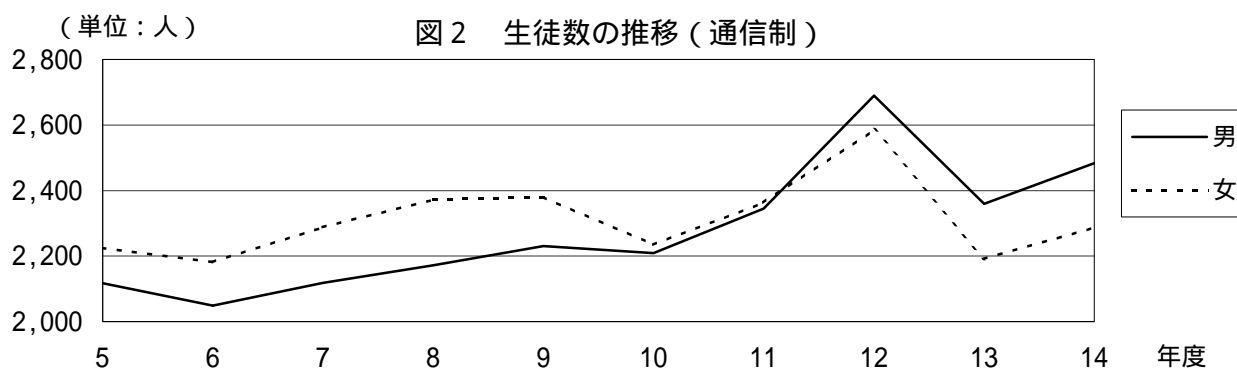


表21 通信制の学校数・生徒数・教員数・職員数 高等学校 (単位:校,人)

年次	学校数			生徒数			教員数					
	独立校	併置校	協力校	総数	男	女	本務者			兼務者		
							総数	男	女	総数	男	女
昭和40年度	-	2	24	3,057	1,904	1,153	32	28	4	83	79	4
50	-	2	21	3,284	1,735	1,549	45	37	8	49	47	2
60	-	2	16	4,141	1,892	2,249	56	42	14	52	36	16
平成5	2	-	23	4,342	2,117	2,225	68	52	16	43	30	13
6	2	-	24	4,231	2,049	2,182	69	53	16	50	39	11
7	2	-	21	4,406	2,118	2,288	70	53	17	50	38	12
8	2	-	20	4,544	2,172	2,372	70	52	18	48	37	11
9	2	-	19	4,611	2,231	2,380	72	49	23	46	35	11
10	2	-	18	4,443	2,209	2,234	72	45	27	43	30	13
11	2	-	20	4,708	2,345	2,363	74	45	29	48	32	16
12	4	1	21	5,276	2,690	2,586	97	63	34	57	37	20
13	4	1	20	4,550	2,359	2,191	93	63	30	60	35	25
14	5	1	15	4,771	2,484	2,287	86	58	28	65	38	27

注) 教員数兼務者には校外協力校の兼務者を含む。

4 盲学校・ろう学校・養護学校

(1) 学校数

学校数は、盲学校1校、ろう学校3校(うち分校1校)、養護学校13校である。

(表22, 統計表36)

(2) 在学者数

在学者数は、盲学校63人(男子36人, 女子27人), ろう学校87人(男子48人, 女子39人), 養護学校1,169人(男子736人, 女子433人)である。(表22, 統計表36)

(3) 教員数

教員数(本務者)は、盲学校67人, ろう学校77人, 養護学校898人である。(表22)

表22 学校数・在学者数・教員数

盲学校・ろう学校・養護学校

(単位:校,人)

年次	盲学校			ろう学校			養護学校		
	学校数	在学者数	教員数 (本務者)	学校数	在学者数	教員数 (本務者)	学校数	在学者数	教員数 (本務者)
昭和40年度	1	193	46	3	475	102	4	317	70
50	1	189	57	3	263	116	5	686	256
60	1	140	77	3	190	138	12	1,715	896
平成5	1	100	81	3	110	104	13	1,176	1,077
6	1	96	75	3	95	102	13	1,151	1,059
7	1	87	75	3	102	105	13	1,126	1,079
8	1	80	77	3	90	107	13	1,067	1,047
9	1	72	73	3	72	106	13	1,029	1,036
10	1	76	77	3	74	97	13	1,008	1,023
11	1	71	74	3	76	93	13	1,007	996
12	1	68	68	3	77	86	13	1,063	953
13	1	65	62	3	81	83	13	1,117	930
14	1	63	67	3	87	77	13	1,169	898

5 幼稚園

(1) 幼稚園数

ア 幼稚園数は342園(本園339園,分園3園)である。(表23)

イ 設置者別では,国立2園,公立129園(うち休園中12園),私立211園(うち休園中11園)で,私立が全体の約6割となっている。(表23)

私立の設置者別では,学校法人立178園(84.4%),宗教法人立が17園(8.1%)等である。(統計表45)

ウ 園児数別では,園児数1~50人の幼稚園が105園(30.7%)で最も多い。

1園当たりの園児数は116人で,私立の1園当たりの園児数は公立の約3倍である。

(表24)

表23 幼稚園数・学級数・園児数・教員数
幼稚園
(単位:園,学級,人)

年次	園数	学級数	園児数				教員数 (本務者)
			総数	3歳	4歳	5歳	
昭和40年度	225	894	28,684	2,204	11,179	15,301	1,182
50	313	1,639	53,039	5,337	21,889	25,813	2,100
60	377	1,678	46,586	6,211	18,597	21,778	2,378
平成5	373	1,643	42,016	8,408	16,003	17,605	2,361
6	371	1,622	41,129	8,410	15,283	17,436	2,346
7	369	1,589	39,981	8,628	14,797	16,556	2,319
8	368	1,586	39,326	8,725	14,584	16,017	2,311
9	364	1,581	39,077	8,891	14,462	15,724	2,276
10	359	1,577	38,804	9,115	14,176	15,513	2,293
11	356	1,572	38,271	8,727	14,353	15,191	2,245
12	348	1,572	37,863	8,952	13,728	15,183	2,250
13	343	1,580	37,203	9,118	13,651	14,434	2,232
14	342	1,576	36,971	9,293	13,394	14,284	2,276
国立	2	8	247	44	101	102	11
公立	129	277	5,694	267	2,294	3,133	440
私立	211	1,291	31,030	8,982	10,999	11,049	1,825

表24 園児数別園数
幼稚園
(単位:園,人)

年次	幼稚園 総数	0人	1~	51~	101~	151~	201~	251~	301~	401人	1園当た り園児数
			50人	100人	150人	200人	250人	300人	400人	以上	
昭和40年度	225	-	45	60	43	38	19	10	7	3	127
50	313	-	45	58	61	45	41	23	22	18	169
60	377	4	88	101	67	47	32	18	14	6	125
平成5	373	16	121	73	51	49	27	13	19	3	118
6	371	17	123	73	48	46	29	11	21	3	116
7	369	17	123	78	49	42	24	15	19	2	114
8	368	18	127	76	44	40	27	14	18	3	112
9	364	21	120	74	45	45	23	15	17	4	114
10	359	23	113	70	49	47	22	15	14	6	115
11	356	27	107	68	51	50	21	14	12	6	116
12	348	23	103	65	55	49	22	18	7	6	117
13	343	20	104	73	48	47	21	13	12	5	115
14	342	23	105	68	46	43	26	16	11	4	116
国立	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	124
公立	129	12	77	23	14	2	1	-	-	-	49
私立	211	11	28	44	32	40	25	16	11	4	155

注) 1 0人とは休園中の幼稚園である。

2 1園当たり園児数の算出式は次のとおりである。

1園当たり園児数 = 園児総数 / (幼稚園総数 - 休園中の幼稚園数)

(2) 園児数

- ア 園児数は 36,971 人(男子 18,708 人,女子 18,263 人)で,前年度より 232 人(0.6%)減少し,平成元年度以降連続して減少している。(表 2 3,統計表 4 0)
- イ 設置者別では,国立 247 人,公立 5,694 人,私立 31,030 人で,私立が全体の 8 割以上を占めている。(表 2 3)
- ウ 入園児数は 15,027 人で,前年度より 301 人(2.0%)減少した。
年齢別では 3 歳児 8,947 人(59.5%),4 歳児 4,777 人(31.8%),5 歳児 1,303 人(8.7%)である。(表 2 5)
- エ 前年度の修了者数は 14,457 人,就園率は 52.6%(全国 59.9%)で,前年度より 0.7 ポイント低下した。(表 2 5)

表 2 5 年齢別入園児数・修了者数・就園率 幼稚園 (単位:人,%)

年次	入園児数				修了者数	就園率
	総数	3 歳児	4 歳児	5 歳児		
昭和 40 年度	16,916	2,204	9,193	5,519	14,816	41.6
50	29,785	5,337	17,261	7,187	25,382	57.1
60	22,664	6,211	12,773	3,680	23,093	58.3
平成 5	18,852	8,408	8,100	2,344	18,530	57.6
6	17,957	8,410	7,305	2,242	17,633	57.2
7	17,568	8,628	6,809	2,131	17,450	57.3
8	17,134	8,725	6,381	2,028	16,557	56.8
9	17,029	8,891	6,238	1,900	15,952	56.0
10	16,648	9,115	5,694	1,839	15,705	55.4
11	16,080	8,727	5,692	1,661	15,385	54.8
12	15,960	8,952	5,432	1,576	15,132	54.3
13	15,328	8,806	5,107	1,415	15,177	53.3
14	15,027	8,947	4,777	1,303	14,457	52.6

注) 就園率 = 幼稚園修了者数 / 本年度小学校 1 学年児童数 × 100

(3) 教員数

- ア 教員数(本務者)は 2,276 人(男子 148 人,女子 2,128 人)で,前年度より 44 人(2.0%)増加した。
女子教員の割合は 93.5%である。(表 2 3,統計表 4 0)
- イ 本務教員 1 人当たりの園児数は 16.2 人である。(表 2 3)

6 専修学校

(1) 学校数

ア 学校数は97校である。(表26)

イ 設置者別では、国立6校、公立3校、私立88校である。(表26)

(2) 学科数

学科数は261学科(昼間248学科、その他13学科)である。(表26, 統計表46)

(3) 生徒数

ア 生徒数は15,766人で、前年度より695人(4.2%)減少した。(表26)

イ 男女別では、男子6,398人、女子9,368人である。(表26)

ウ 課程別では、高等課程2,125人(13.5%)、専門課程13,543人(85.9%)、一般課程98人(0.6%)である。(表27)

エ 学科別では、医療関係が5,024人(31.9%)、工業関係が2,568人(16.3%)、文化・教養関係が2,252人(14.3%)等となっている。(表27)

オ 学科別・男女別では、男子は工業関係(34.3%)、女子は医療関係(41.9%)が最も多い。(表27, 図4)

表26 学校数・学科数・生徒数・教員数 専修学校
(単位：校，学科，人)

年次	学校数	学科数	生徒数			教員数(本務者)		
			総数	男	女	総数	男	女
昭和51年度	16	42	2,181	301	1,880	122	30	92
60	89	253	10,610	2,239	8,371	585	161	424
平成5	104	250	23,850	12,052	11,798	936	435	501
6	97	239	22,630	11,268	11,362	935	445	490
7	96	257	22,096	11,074	11,022	931	441	490
8	98	267	21,378	10,662	10,716	973	460	513
9	98	281	20,227	9,899	10,328	1,044	503	541
10	98	270	18,394	8,798	9,596	1,001	452	549
11	98	261	16,145	6,973	9,172	967	428	539
12	99	258	15,822	6,599	9,223	986	437	549
13	99	267	16,461	6,834	9,627	984	438	546
14	97	261	15,766	6,398	9,368	977	443	534
国立	6	7	729	96	633	38	7	31
公立	3	7	648	45	603	75	1	74
私立	88	247	14,389	6,257	8,132	864	435	429

注) 専修学校制度は昭和51年度に発足した。

(単位：人)

図3 専修学校・各種学校の生徒数の推移

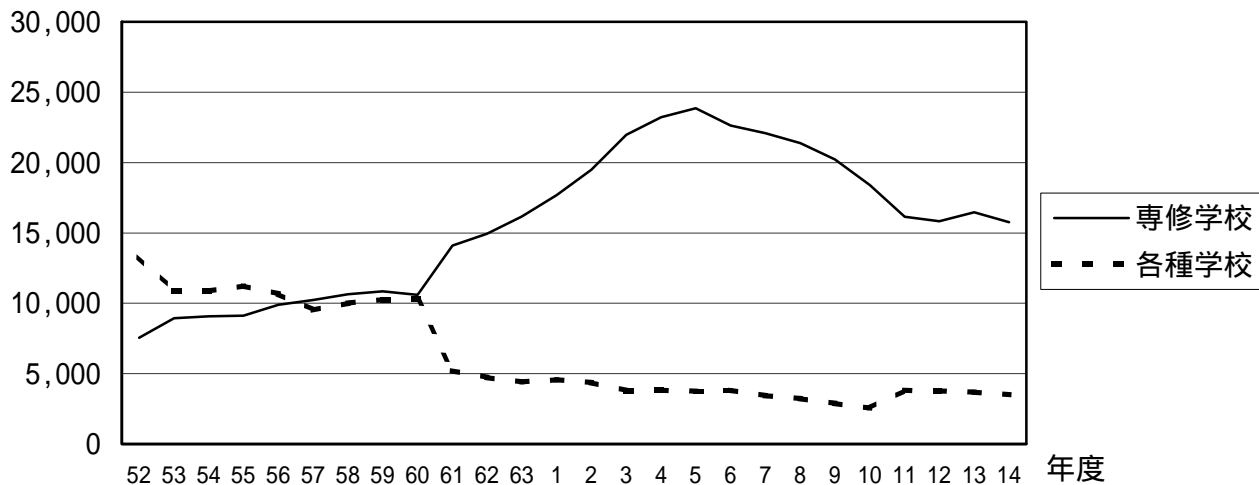
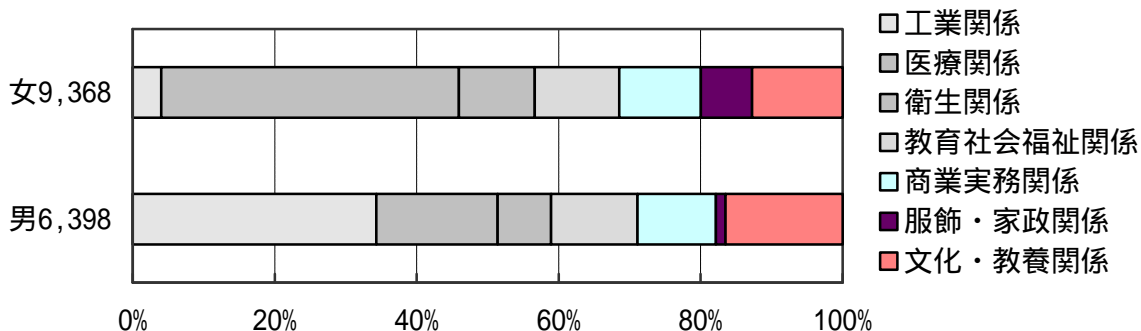


表27 課程別学科別生徒数 専修学校

(単位：人)

学科別	総数			高等課程			専門課程			一般課程		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
[総数]	15,766	6,398	9,368	2,125	595	1,530	13,543	5,760	7,783	98	43	55
工業関係	2,568	2,194	374	-	-	-	2,568	2,194	374	-	-	-
医療関係	5,024	1,095	3,929	1,172	195	977	3,852	900	2,952	-	-	-
衛生関係	1,481	480	1,001	32	13	19	1,359	424	935	90	43	47
教育社会福祉関係	1,897	779	1,118	147	74	73	1,750	705	1,045	-	-	-
商業実務関係	1,783	707	1,076	134	100	34	1,649	607	1,042	-	-	-
服飾・家政関係	761	87	674	328	37	291	425	50	375	8	-	8
文化・教養関係	2,252	1,056	1,196	312	176	136	1,940	880	1,060	-	-	-

図4 学科別生徒割合



(4) 卒業者数(前年度間)

ア 卒業者数は6,458人で、うち就職している者の割合は73.6%である。

学科別就職者数割合では、衛生関係が89.0%と最も高い。(表28)

イ 就職者のうち関係分野に就職した者の割合は89.4%で、特に医療関係(99.0%)、衛生関係(96.0%)、教育社会福祉関係(97.5%)の割合が高くなっている。(表28)

表28 学科別卒業者数 専修学校

(単位：人，%)

学 科 別	卒業者総数	総数のうち 就 職 者	/ × 100	就職者のうち関係分野 に 就 職 し た 者	/ × 100
〔 総 数 〕	6,458	4,752	73.6	4,247	89.4
工 業 関 係	1,134	887	78.2	675	76.1
医 療 関 係	1,699	1,343	79.0	1,330	99.0
衛 生 関 係	672	598	89.0	574	96.0
教育社会福祉関係	933	805	86.3	785	97.5
商 業 実 務 関 係	751	521	69.4	442	84.8
服 飾 ・ 家 政 関 係	332	142	42.8	104	73.2
文 化 ・ 教 養 関 係	937	456	48.7	337	73.9

7 各種学校

(1) 学校数

学校数は36校(全て私立)である。(表29)

(2) 課程数

課程数は63課程である(表29)

(3) 生徒数

ア 生徒数は3,508人で、前年度より173人(4.7%)減少した。(表29)

イ 男女別では、男子2,141人、女子1,367人である。(表29)

ウ 課程別では、男子は予備校が1,567人(73.2%)で大半を占め、外国人学校209人(9.8%)がこれに続いている。

女子は予備校が560人(41.0%)で最も多く、次いで准看護249人(18.2%)、外国人学校186人(13.6%)の順になっている。(統計表50)

表29 学校数・課程数・生徒数・教員数 各種学校
(単位：校，課程，人)

年次	学校数	課程数	生徒数			教員数(本務者)		
			総数	男	女	総数	男	女
昭和40年度	170	356	23,815	3,433	20,382	758	136	622
50	178	306	21,110	6,616	14,494	758	198	560
60	67	82	10,278	6,799	3,479	243	122	121
平成5	50	80	3,743	2,389	1,354	192	96	96
6	49	84	3,815	2,442	1,373	192	94	98
7	49	86	3,445	2,066	1,379	192	91	101
8	43	82	3,229	1,867	1,362	174	79	95
9	40	69	2,884	1,637	1,247	169	88	81
10	39	65	2,545	1,419	1,126	167	90	77
11	37	63	3,811	2,404	1,407	185	109	76
12	38	63	3,780	2,367	1,413	176	101	75
13	37	64	3,681	2,317	1,364	180	100	80
14	36	63	3,508	2,141	1,367	184	101	83

卒業後の状況調査

1 中学校卒業生

(1) 卒業生数

ア 卒業生総数は31,620人(男子16,267人,女子15,353人)で,前年度より1,032人(3.2%)減少した。(表30)

イ 進路別内訳は,進学者30,701人(うち就職している者45人),専修学校等入学者339人,就職者178人,左記以外の者・死亡・不詳402人である。(表30)

表30 進路別卒業生数 中学校卒業生

(単位:人,%)

年次	卒業生数 (A+B+C+D)			A 進学者	B 専修学 校等 入学者	C 就職者	D 左記以外 の者・死亡 ・不詳	Aの うちの 就職者	Bの うちの 就職者	進 学 率	就 職 率
	総数	男	女								
昭和40年度	53,939	27,613	26,326	44,947	-	7,704	1,288	1,679	-	83.3	17.4
50	35,564	18,251	17,313	34,617	-	487	460	318	-	97.3	2.3
60	43,360	22,193	21,167	41,865	599	591	305	301	9	96.6	2.1
平成5	40,334	20,530	19,804	39,246	538	357	193	145	8	97.3	1.3
6	38,978	19,962	19,016	37,986	493	324	170	115	2	97.5	1.1
7	36,884	18,820	18,064	36,135	325	228	196	74	2	98.0	0.8
8	36,161	18,594	17,567	35,489	299	212	161	50	2	98.1	0.7
9	34,286	17,612	16,674	33,676	238	182	190	37	4	98.2	0.7
10	35,363	18,149	17,214	34,636	285	232	210	61	1	97.9	0.8
11	34,331	17,468	16,863	33,488	341	208	294	28	1	97.5	0.7
12	33,811	17,363	16,448	32,964	359	191	297	34	2	97.5	0.7
13	32,652	16,814	15,838	31,757	372	213	310	24	2	97.3	0.7
14	31,620	16,267	15,353	30,701	339	178	402	45	-	97.1	0.7
国立	410	211	199	405	4	-	1	-	-	98.8	-
公立	28,557	14,860	13,697	27,650	333	178	396	45	-	96.8	0.8
私立	2,653	1,196	1,457	2,646	2	-	5	-	-	99.7	-

- 注) 1 この表は,前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。
 2 昭和40年度及び50年度の「専修学校等入学者」は「左記以外の者・死亡・不詳」に含めている。

(2) 進学者数

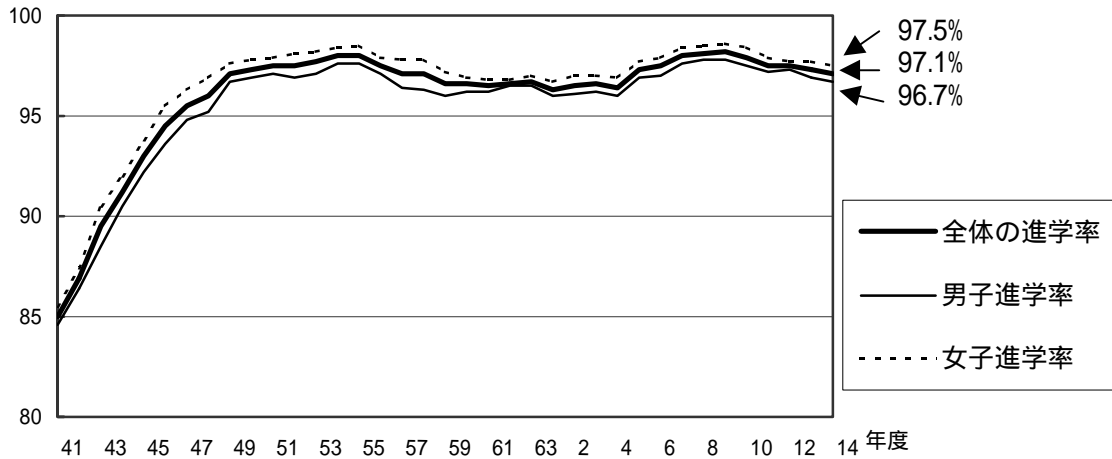
ア 進学者(就職しながら進学した者を含む。)は30,701人(男子15,735人,女子14,966人)で,前年より1,056人(3.3%)減少した。(表30,統計表53)

イ 進学率は97.1%(全国97.0%)で,前年度より0.2ポイント低下した。

(表30,図5)

(単位：%)

図5 進学率の推移 - 中学校卒業生 -



(3) 専修学校等入学者数

ア 専修学校等入学者(就職しながら入学した者を含む。)は339人(男子158人,女子181人)で,前年度より33人(8.9%)減少した。(表31)

イ 卒業者に占める割合は1.1%で,前年度と同率である。(表30)

ウ 入学者の内訳は,専修学校298人(87.9%),各種学校26人(7.7%),公共職業能力開発施設等15人(4.4%)となっている。(表31)

表31 専修学校等入学者の内訳 中学校卒業生

(単位:人,%)

年次	総数			専修学校			各種学校			公共職業能力開発施設等		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和62年度	689	280	409	407	110	297	140	42	98	142	128	14
63	659	292	367	432	154	278	132	49	83	95	89	6
平成4	851	433	418	679	322	357	94	46	48	78	65	13
5	538	289	249	407	205	202	73	31	42	58	53	5
6	493	256	237	412	199	213	43	24	19	38	33	5
7	325	161	164	271	123	148	25	12	13	29	26	3
8	299	148	151	239	105	134	29	16	13	31	27	4
9	238	124	114	200	101	99	22	9	13	16	14	2
10	285	148	137	233	120	113	29	9	20	23	19	4
11	341	170	171	285	140	145	38	15	23	18	15	3
12	359	173	186	308	135	173	28	18	10	23	20	3
13	372	183	189	329	153	176	24	12	12	19	18	1
13	372	183	189	329	153	176	24	12	12	19	18	1
14	339	158	181	298	141	157	26	4	22	15	13	2
構成比	100.0	100.0	100.0	87.9	89.2	86.7	7.7	2.5	12.2	4.4	8.2	1.1

注) 1 この表は,前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 平成10年度以前の数字は「公共職業訓練施設等入学者」の人数である。

(4) 就職者数

ア 就職者数(就職しながら進学または入学した者を含む。)は223人(男子174人,女子49人)で,前年度より16人(6.7%)減少した。(表30,統計表58)

イ 就職率は0.7%(全国0.9%)で,前年度と同率である。

男女別では男子1.1%,女子0.3%で,男子が女子を0.8ポイント上回っている。

(表30,統計表58)

ウ 産業別就職者は第一次産業10人(4.5%),第二次産業124人(55.6%),第三次産業73人(32.7%)等である。(表32)

エ 県内就職者は210人(94.2%),県外就職者13人(5.8%)である。(表32)

表32 産業別・県内県外別就職者の割合 中学校卒業者

(単位:人,%)

年次	就職者総数 (実数)	産業分類				県内 就職率	県外 就職率
		第一次	第二次	第三次	分類不能		
昭和40年度	9,383	1.2	69.6	25.4	3.8	81.8	18.2
50	805	2.0	56.0	39.1	2.9	88.6	11.4
60	901	2.9	53.9	41.0	2.2	90.3	9.7
平成5	510	2.5	51.0	42.0	4.5	91.2	8.8
6	441	0.9	58.5	37.9	2.7	94.3	5.7
7	304	1.6	63.2	32.9	2.3	91.1	8.9
8	264	3.8	56.1	34.8	5.3	90.5	9.5
9	223	3.1	58.7	36.3	1.8	91.0	9.0
10	294	4.4	59.2	29.6	6.8	93.5	6.5
11	237	4.6	47.7	42.2	5.5	94.1	5.9
12	227	3.1	59.9	26.0	11.0	96.5	3.5
13	239	1.7	49.4	42.7	6.3	97.1	2.9
14	223	4.5	55.6	32.7	7.2	94.2	5.8
(実数)	—	10	124	73	16	210	13

注) この表は,前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 高等学校卒業生

(1) 卒業生数

ア 卒業生総数は30,011人(男子14,965人、女子15,046人)で、前年度より1,163人(3.7%)減少した。(表33)

イ 進路別内訳は、進学者15,534人(うち就職している者7人)、専修学校等入学者8,271人(うち就職している者161人)、就職者3,741人、左記以外の者・死亡・不詳2,465人である。(表33)

表33 進路別卒業生数 高等学校卒業生

(単位：人，%)

年次	卒業生数 (A + B + C + D)			A 進学者	B 専修学 校等 入学者	C 就職者	D 左記以外 の者・死亡 ・不詳	Aの うちの 就職者	Bの うちの 就職者	進 学 率	就 職 率
	総数	男	女								
昭和40年度	35,417	17,671	17,746	10,555	...	20,330	4,532	244	...	29.8	58.1
50	33,030	16,388	16,642	14,503	...	12,247	6,280	128	...	43.9	37.5
60	31,423	15,767	15,656	12,823	7,712	10,130	758	78	275	40.8	33.4
平成5	42,232	21,073	21,159	17,903	12,879	9,915	1,585	27	326	42.4	24.3
6	39,560	19,873	19,687	17,540	12,133	8,121	1,766	31	348	44.3	21.5
7	37,187	18,587	18,600	17,286	11,211	6,698	1,992	23	373	46.5	19.1
8	36,200	18,070	18,130	17,182	10,766	6,232	2,020	18	313	47.5	18.1
9	34,660	17,361	17,299	17,169	9,551	5,909	2,031	15	326	49.5	18.0
10	32,985	16,496	16,489	17,288	8,307	5,375	2,015	16	251	52.4	17.1
11	32,187	16,144	16,043	16,671	8,233	4,630	2,653	15	268	51.8	15.3
12	30,482	15,216	15,266	15,944	7,914	4,205	2,419	9	234	52.3	14.6
13	31,174	15,606	15,568	16,272	8,338	3,966	2,598	4	241	52.2	13.5
14	30,011	14,965	15,046	15,534	8,271	3,741	2,465	7	161	51.8	13.0
国立	401	229	172	250	144	1	6	-	-	62.3	0.2
公立	20,581	9,960	10,621	10,020	5,753	3,026	1,782	5	106	48.7	15.2
私立	9,029	4,776	4,253	5,264	2,374	714	677	2	55	58.3	8.5
全日制	28,993	14,379	14,614	15,444	8,103	3,276	2,170	7	156	53.3	11.9
定時制	487	312	175	21	51	262	153	-	2	4.3	54.2
通信制	531	274	257	69	117	203	142	-	3	13.0	38.8
構成比	100.0	100.0	100.0	51.8	27.6	12.5	8.2				

注) 1 この表は、前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 昭和40年度及び50年度の「専修学校等入学者」は「左記以外の者・死亡・不詳」に含めている。

(2) 進学者数

ア 進学者(就職しながら進学した者を含む。)は15,534人(男子7,610人,女子7,924人)で,前年度より738人(4.5%)減少した。(表34)

イ 進学率は51.8%(男50.9%,女子52.7%)で,前年度より0.4ポイント低下した。女子の進学率が高いのは,男子に比べ短期大学への進学者が多いためである。

(表33,34,図6)

ウ 進学先は,大学(学部)12,947人(83.3%),短期大学(本科)2,558人(16.5%),その他29人(0.2%)で,大学(学部)進学者のうち56.4%を男子が,短期大学(本科)進学者のうち88.2%を女子が占めている。

また,男子進学者のうち96.0%は大学(学部)に進学し,女子進学者のうち71.2%が大学(学部)に進学し,短期大学(本科)進学者を6年連続して上回った。(表34)

エ 入学率は,大学(学部)は80.9%で,前年度より0.5ポイント低下した。

また,短期大学(本科)は95.8%で,前年度より1.5ポイント上昇した。(表35)

表34 大学・短期大学等への進学者数 高等学校卒業生

(単位:人,%)

年次	総数			大学(学部)			短期大学(本科)			その他		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
昭和40年度	10,555	6,074	4,481	7,012	5,574	1,438	3,319	391	2,928	224	109	115
50	14,503	6,965	7,538	9,250	6,600	2,650	5,215	363	4,852	38	2	36
60	12,823	5,992	6,831	8,050	5,620	2,430	4,745	365	4,380	28	7	21
平成5	17,903	7,069	10,834	10,862	6,614	4,248	6,999	446	6,553	42	9	33
6	17,540	6,940	10,600	10,976	6,434	4,542	6,505	480	6,025	59	26	33
7	17,286	7,031	10,255	11,272	6,582	4,690	5,960	420	5,540	54	29	25
8	17,182	7,247	9,935	11,642	6,792	4,850	5,497	442	5,055	43	13	30
9	17,169	7,675	9,494	12,053	7,203	4,850	5,069	456	4,613	47	16	31
10	17,288	7,904	9,384	12,547	7,453	5,094	4,685	442	4,243	56	9	47
11	16,671	7,996	8,675	12,700	7,596	5,104	3,934	390	3,544	37	10	27
12	15,944	7,833	8,111	12,688	7,467	5,221	3,221	362	2,859	35	4	31
13	16,272	8,006	8,266	13,241	7,674	5,567	2,999	323	2,676	32	9	23
14	15,534	7,610	7,924	12,947	7,304	5,643	2,558	302	2,256	29	4	25
全日制	15,444	7,562	7,882	12,886	7,264	5,622	2,533	295	2,238	25	3	22
定時制	21	14	7	14	12	2	6	1	5	1	1	-
通信制	69	34	35	47	28	19	19	6	13	3	-	3
構成比	100.0	100.0	100.0	83.3	96.0	71.2	16.5	4.0	28.5	0.2	0.1	0.3

注) この表は,前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

図6 男女別進学率及び就職率の推移 - 高等学校卒業生 -

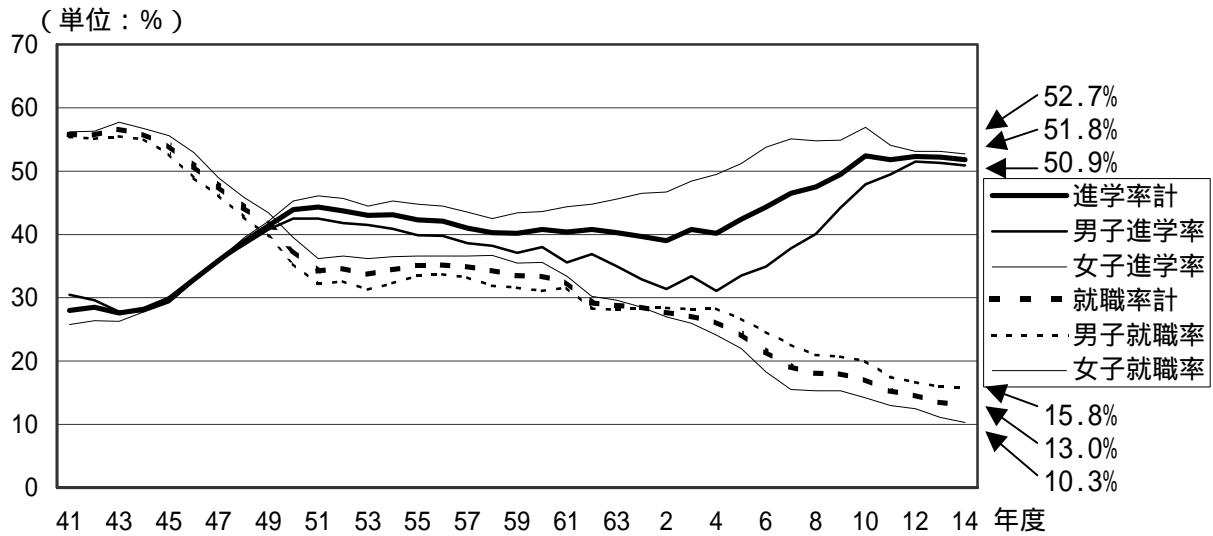


表35 大学(学部)・短期大学(本科)への当該年度卒業生の入学率及び入学志願者数 高等学校卒業生

(単位：人，%)

年次	当該年度卒業生の入学率		入学志願者数			
	大学(学部)	短期大学(本科)	大学(学部)		短期大学(本科)	
			当該年度卒業	過年度卒業	当該年度卒業	過年度卒業
昭和 40年度	77.5	89.3	9,042	2,043	3,716	299
50	71.4	95.5	12,950	3,470	5,463	115
60	66.2	94.4	12,157	4,336	5,028	83
平成 5	62.9	89.7	17,268	5,699	7,803	173
6	64.5	91.7	17,004	5,482	7,096	129
7	66.6	92.2	16,935	5,082	6,466	128
8	69.2	93.7	16,818	4,780	5,865	123
9	75.6	96.2	15,949	4,318	5,270	104
10	78.4	95.7	16,006	4,066	4,898	197
11	80.5	95.8	15,784	2,812	4,107	126
12	81.7	96.0	15,534	3,224	3,356	144
13	81.4	94.3	16,266	2,544	3,181	59
14	80.9	95.8	16,004	2,696	2,671	67
全日制	80.9	95.8	15,930	2,692	2,644	67
定時制	93.3	85.7	15	1	7	-
通信制	79.7	95.0	59	3	20	-

注) 1 この表は、前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 当該年度卒業生の入学率の算出式は次のとおりである。

$$\text{当該年度卒業生の入学率} = \frac{\text{当該年度進学者}}{\text{当該年度志願者}} \times 100$$

3 昭和50年度の過年度卒業生の入学志願者数には国立は含まれていない。

(3) 専修学校等入学者数

ア 専修学校等入学者(就職しながら入学した者を含む。)は8,271人(男子4,003人,女子4,268人)で,前年度より67人(0.8%)減少した。(表36)

イ 卒業者に占める割合は27.6%で,前年度より0.9ポイント上昇した。(表33)

ウ 入学者の内訳は,専修学校5,704人(69.0%),各種学校2,335人(28.2%),公共職業能力開発施設等232人(2.8%)となっている。(表36)

表36 専修学校等入学者の内訳 高等学校卒業者

(単位:人,%)

年次	総数			専修学校			各種学校			公共職業能力開発施設等		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
昭和63年度	11,137	6,723	4,414	6,751	3,197	3,554	4,199	3,383	816	187	143	44
元	11,740	7,106	4,634	7,597	3,792	3,805	3,930	3,164	766	213	150	63
平成2	12,958	7,891	5,067	8,599	4,507	4,092	4,178	3,264	914	181	120	61
3	12,887	7,743	5,144	9,707	5,368	4,339	2,985	2,246	739	195	129	66
4	13,471	8,160	5,311	10,220	5,627	4,593	3,016	2,390	626	235	143	92
5	12,879	7,690	5,189	9,495	5,126	4,369	3,127	2,402	725	257	162	95
6	12,133	7,242	4,891	9,189	5,012	4,177	2,686	2,058	628	258	172	86
7	11,211	6,521	4,690	8,424	4,491	3,933	2,534	1,868	666	253	162	91
8	10,766	6,139	4,627	8,035	4,197	3,838	2,471	1,754	717	260	188	72
9	9,551	5,242	4,309	7,123	3,549	3,574	2,155	1,500	655	273	193	80
10	8,307	4,398	3,909	6,360	3,039	3,321	1,692	1,183	509	255	176	79
11	8,261	4,072	4,189	5,467	2,298	3,169	2,492	1,713	779	274	200	74
12	7,914	3,895	4,019	5,490	2,205	3,285	2,178	1,500	678	246	190	56
13	8,338	4,112	4,226	5,797	2,357	3,440	2,310	1,567	743	231	188	43
14	8,271	4,003	4,268	5,704	2,262	3,442	2,335	1,559	776	232	182	50
全日制	8,103	3,901	4,202	5,591	2,201	3,390	2,286	1,524	762	226	176	50
定時制	51	36	15	42	28	14	3	2	1	6	6	-
通信制	117	66	51	71	33	38	46	33	13	-	-	-
構成比	100.0	100.0	100.0	69.0	56.5	80.6	28.2	38.9	18.2	2.8	4.5	1.2

注) 1 この表は,前年度間の卒業者の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。
 2 平成10年度以前の数字は「公共職業訓練施設等入学者」の人数である。

(4) 就職者数

ア 就職者数(就職しながら進学または入学した者を含む。)は3,909人(男子2,357人,女子1,552人)で,前年度より302人(7.2%)減少した。(表33,37)

イ 就職率は13.0%(全国17.2%)で,前年度より0.5ポイント低下した。

男女別では,男子15.8%,女子10.3%で,男子が女子を5.5ポイント上回っている。

(表33,37,図6)

ウ 産業別では,男子は製造業37.5%,サービス業15.4%,建設業13.5%の順になっている。

女子はサービス業42.7%,卸売・小売業,飲食店28.2%,製造業16.9%の順になっている。(表37)

エ 職業別では,男子は生産工程作業員及び労務作業員(以下「労務作業員等」という。)54.1%,サービス職業従事者12.3%,保安職業従事者9.6%の順になっている。

女子はサービス職業従事者35.3%,事務従事者23.6%,労務作業員等12.8%の順になっている。(統計表68)

オ 県内就職者は3,366人(男子1,978人,女子1,388人)で,県内就職率は90.9%となっている。

県外就職者は337人(男子259人,女子78人)となっている。

主な就職者先は,大阪府62人,東京都58人,神奈川県38人等となっている。(通信制は除く。)(統計表66,69)

表37 男女別・産業別就職者の割合 高等学校卒業生

(単位:人,%)

年次	就職者総数 (実数)		構成比															
			建設業		製造業		運輸・ 通信業		卸売・小売業 飲食店		金融・保険		サービス業		公務		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和40年度	10,010	10,564	6.2	1.6	56.0	29.9	7.3	4.5	12.7	34.6	3.0	10.1	3.2	10.3	6.4	3.7	5.3	5.3
50	5,801	6,574	8.8	2.6	50.3	21.3	4.5	2.4	15.1	33.2	1.5	19.9	8.0	16.5	7.7	2.9	4.1	1.4
60	4,910	5,573	6.9	1.5	47.3	21.8	4.6	2.9	18.9	35.0	0.4	8.4	11.9	28.0	7.0	1.2	3.0	1.2
平成5	5,617	4,651	12.2	2.6	41.7	21.5	4.1	4.3	13.6	32.9	0.4	4.9	13.9	30.9	11.1	1.9	3.0	1.0
6	4,893	3,607	14.9	3.1	39.3	19.3	5.4	3.9	14.7	31.6	0.1	3.5	15.2	36.3	7.0	1.5	3.4	0.8
7	4,204	2,890	17.9	3.0	38.9	19.8	4.7	3.8	14.8	28.4	0.2	3.3	14.1	39.1	5.4	1.3	4.1	1.2
8	3,795	2,768	18.3	2.7	37.9	22.8	4.1	3.5	13.9	28.0	0.2	2.9	14.5	36.7	7.9	1.7	3.2	1.7
9	3,598	2,652	16.8	2.2	40.5	19.8	4.7	2.9	14.2	31.1	0.1	1.9	12.8	38.7	6.9	0.8	4.0	2.6
10	3,295	2,347	14.3	2.0	44.1	20.6	4.6	0.4	13.2	31.4	0.2	2.7	13.4	36.9	7.1	1.5	3.2	1.4
11	2,821	2,092	13.9	1.7	44.5	17.3	4.7	3.4	12.7	28.2	0.2	3.1	14.0	42.8	6.3	1.6	3.7	1.9
12	2,539	1,909	15.4	2.3	38.1	18.1	5.0	2.9	14.0	26.6	0.1	2.6	15.1	44.9	8.1	1.0	4.2	1.6
13	2,479	1,732	14.4	1.8	39.8	19.7	4.7	2.7	13.3	24.8	0.2	2.7	14.2	45.3	8.6	1.2	4.8	1.8
14	2,357	1,552	13.5	2.5	37.5	16.9	6.1	2.9	11.5	28.2	0.2	2.2	15.4	42.7	10.9	2.1	4.9	2.5
全日制	2,050	1,389	12.5	2.7	40.4	17.0	6.2	3.0	11.5	27.9	0.1	2.2	15.4	43.9	9.6	2.3	4.3	1.0
定時制	187	77	26.2	1.3	24.1	23.4	5.9	-	17.6	33.8	0.5	2.6	17.6	35.1	0.5	-	7.6	3.8
通信制	120	86	10.0	-	8.3	10.5	4.2	3.5	3.3	29.1	1.7	2.3	12.5	29.1	50.8	-	9.2	25.5

注) この表は,前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

3 盲学校・ろう学校・養護学校卒業生

(1) 中 学 部

ア 卒業生総数は、盲学校2人、ろう学校3人、養護学校74人である。(表38)

イ 盲学校、ろう学校及び養護学校卒業生の全員が進学し、主な進学先は盲学校・ろう学校・養護学校の高等部である。(表38)

(2) 高 等 部

ア 卒業生総数は、盲学校3人、ろう学校8人、養護学校189人である。(表38)

イ 卒業生のうち進学者は、盲学校1人、ろう学校1人である。(表38)

ウ 卒業生のうち就職者は、ろう学校4人、養護学校11人である。

産業別では、第二次産業6人(40.0%)、第三次産業9人(60.0%)である。

職業別では、労務作業等9人(60.0%)、販売従事者3人(20.0%)、等である。

(表38)

表38 進路別卒業生数 盲・ろう・養護学校卒業生

(単位：人)

区 分	卒業生数	進学者	専修学校等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳	産業別・職業別就職者数(再掲)										
							計	産 業 別			職 業 別						その他
								第一次産業	第二次産業	第三次産業	専門的従事者	事務従事者	販売従事者	労務作業者等	サービス	職業従事者	
(中学部)																	
平成13年度	74	73	-	-	1	-	-
14	79	79	-	-	-	-	-
盲学校	2	2	-	-	-	-	-
ろう学校	3	3	-	-	-	-	-
養護学校	74	74	-	-	-	-	-
(高等部)																	
平成13年度	176	7	5	11	153	-	11	-	3	8	-	-	1	3	4	3	
14	200	2	8	15	175	-	15	-	6	9	-	-	3	9	2	1	
盲学校	3	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ろう学校	8	1	1	4	2	-	4	-	3	1	-	-	1	3	-	-	
養護学校	189	-	7	11	171	-	11	-	3	8	-	-	2	6	2	1	

注) 1 この表は、前年度間の卒業生の進路状況を調査年度の5月1日現在で集計したものである。

2 専門的従事者とは、専門的技術的職業従事者をいう。

3 労務作業等とは、生産工程作業者及び労務作業者をいう。

不就学学齡児童生徒調査

1 就学免除者及び就学猶予者数

学齡児童生徒のうち、就学義務を免除された者は16人（男子7人，女子9人），就学を猶予された者は3人（男子3人）である。（表39）

2 学齡児童生徒死亡者数

平成13年度間に死亡した学齡児童生徒は13人（男子12人，女子1人）である。

（表40）

表39 不就学学齡児童生徒数

（単位：人）

年次	総数			就学免除者			就学猶予者		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
昭和 40年度	483	260	223	226	119	107	257	141	116
50	249	147	102	121	69	52	128	78	50
60	6	6	-	-	-	-	6	6	-
平成 5	12	6	6	8	4	4	4	2	2
6	15	8	7	11	6	5	4	2	2
7	16	6	10	11	4	7	5	2	3
8	11	5	6	7	3	4	4	2	2
9	15	10	5	7	4	3	8	6	2
10	12	9	3	5	4	1	7	5	2
11	18	12	6	5	3	2	13	9	4
12	10	5	5	5	3	2	5	2	3
13	15	6	9	9	1	8	6	5	1
14	19	10	9	16	7	9	3	3	-

表40 学齡児童生徒死亡者数

（単位：人）

年次	総数			6歳～11歳			12歳～14歳		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
昭和 40年度間	130	84	46	89	56	33	41	28	13
50	72	47	25	49	34	15	23	13	10
60	55	36	19	42	28	14	13	8	5
平成 5	22	15	7	14	10	4	8	5	3
6	27	15	12	18	8	10	9	7	2
7	28	14	14	17	9	8	11	5	6
8	20	15	5	12	10	2	8	5	3
9	24	16	8	15	9	6	9	7	2
10	29	20	9	15	12	3	14	8	6
11	25	12	13	16	7	9	9	5	4
12	21	14	7	14	9	5	7	5	2
13	13	12	1	9	8	1	4	4	-